無料資料　脳トレ 40

ごみを見て、分け方と出し方を考えよう

実施日　年　月　日
お名前

身近なごみを見て、同じ仲間に分けたり、安全な出し方を考えたりする課題です。
※実際の分別方法は自治体によって異なります。生活場面では地域のルールをご確認ください。

1〜10の物を見て、問題に答えましょう



1 同じ仲間になりそうな物を、番号でまとめましょう。

分け方は一例です。自分なりの分け方でも構いません。

紙類

容器類

注意して出したい物

その他

2 そのまま出すと危険そうな物を3つ選び、番号を書きましょう。

3 選んだ物は、どのように準備・確認してから出すと安全ですか？

4 分別方法が分からない物があったとき、どこで確認するとよいですか？

5 一番判断に迷った物を1つ選び、なぜ迷ったのかを書きましょう。

※この課題では「どう考えたか」を大切にします。地域によって分類が異なる物は、実際の自治体ルールを確認してください。

無料資料　脳トレ 40

ごみを見て、分け方と出し方を考えよう

実施日　年　月　日
お名前

解答例・支援者向け解説

解答例は一例です。自治体や施設のルールにより分類が変わる物もあります。

物品一覧



解答例・考え方の例

1｜同じ仲間に分ける（例）
紙類：1・9　／　容器類：2・3・6　／　注意して出したい物：4・5・8・10　／　その他：7

2｜そのまま出すと危険そうな物（例）
4 割れたコップ、5 乾電池、10 スプレー缶 など。

3｜安全に出すための準備・確認（例）
割れたコップは手を切らないように包む。乾電池は端子部分の扱いを確認する。スプレー缶は中身や地域の出し方を確認する。

4｜分別方法が分からない時（例）
自治体のごみ分別表、ホームページ、配布冊子、問い合わせ窓口などで確認する。

5｜迷った物と理由
答えは一つではありません。『小型家電は普通のごみでよいのか迷った』『割れた物は出し方が気になった』など、理由が説明できればよい課題です。

支援者向け解説

■ ねらい
身近な物を見て共通点で分ける、危険性を考える、分からない時の確認方法を考える課題です。正解の暗記ではなく、分類・判断・問題解決の過程を重視します。

■ 主に使う認知機能
選択性注意／分類／情報整理／遂行機能／問題解決／認知的柔軟性／言語化

■ 難しい場合
物品を3〜4個に減らし、「紙でできている物はどれ？」「危なそうな物はある？」など、見るポイントを具体的に示します。

■ 簡単な場合
『回収日を過ぎたらどうする？』『家族に確認するとしたら何を聞く？』など、追加条件を入れて考えてもらいます。

■ 観察ポイント
物の特徴に気づけるか、分類の理由を説明できるか、危険性を予測できるか、分からない時に確認方法を考えられるかを見ます。

※本教材は診断・点数評価を目的としたものではありません。実際のごみ出しでは、地域の正式な分別ルールをご確認ください。